

2016年6月28日 Vol.32

私たちの生活を変える成長ビジネスの担い手

よもやの英国のEU離脱で先週末は一瞬にして株式相場が急落。離脱によるリスクが認識され、一気に相場が崩れてしまいまじめにコツコツと株式投資を行っている多くの投資家にはただ茫然としてしまう出来事となったのかも知れませんが。多くのメディアから発信される情報には誰かが意図的に流したとしか思えないような作為的なものが感じられます。早く冷静さを取り戻し未来に向けた展望を早期に開けるようになってほしいものです。

どのような出来事が起きようと私たちのライフスタイルはその時代や技術革新とともに刻々と変化して参ります。自動車という移動手段がもたらした革新は戦後の経済に大きな影響をもたらし、様々なモバイル機器の普及はICT技術の発展を促し生活そのものに大きな変化をもたらしました。高い技術力を背景に生み出された物とシステムが織りなす新たな産業の組成発展が株式市場にも大いなる刺激を与えてきました。これからもそうしたライフスタイルの変化が企業活動にも影響し想像もつかないような成長企業を生み出すと考えれば何だかとてもわくわくしてきます。

今までできなかった夢のようなことが技術革新によってもたらされ、私たちのライフスタイルを変える事例となるのか、筆者は先週ドローンのセミナーに足を運びました。ドローンというのは単なるラジコンの世界、趣味の世界に留まらずロボットと同様に様々な産業分野に応用が進みつつあります。滅多に見ることのできない空撮映像はドローンのなせる技であり、空路を使ってモノを運ぶ能力に長けていることからロジスティックやソーラーパネルや風力発電の羽を空から異常がないか検査することもできます。また、農業生産に応用することもできると言われています。これまでになかった機器だけに操作に従事する専門家も必要になり、一定時間の講習を経て得られる資格取得への関心も徐々に高まっています。当然、安全面やバッテリーの長寿命化などの改良が求められるなど課題もありますが、既に双葉電子、デンソー、ヤマハ発動機、ソフトバンクテクノロジーなど多くの企業が関わっていることだけは事実です。残念ながらこの分野に特化したベンチャー企業が株式市場には表れていないようですが、今後の登場に期待されます。

さて、6月の12銘柄に続き、7月は5銘柄が新規上場を予定しています。私たちの生活に少なからぬ影響をもたらしたLINE(3938)がいよいよ15日に登場しますので関心の的となりそうです。ライフスタイルの変化をもたらしたLINEがブレグジットショックを克服して市場人気を集めるのか大いに注目されます。

(東京 IPO コラムニスト 松尾範久)